

- 1 派遣期日 令和元年10月17日（木）
- 2 研修先 千葉県習志野市立大久保小学校
〒275-0017 千葉県習志野市藤崎6-9-28
- 3 研修会名
第44回 国語公開研究会
「主体的・対話的で深い学びを通して思考力を育む国語学習」
ー多様な情報を関連づけながら、読みを深める授業作りー

4 研修内容

（1）研修のきっかけ

習志野市の大久保小学校は毎年国語の文学的な文章についての研究発表を行っている国語教育の先進校である。本年度で44回目の発表会ということからも分かるように、44年以上にわたって研究を積み重ねてきている。同じ市内の大久保東小学校は説明的な文章についての研究発表を毎年行っており、こちらは本年度で39回目である。

国語の学習において、「主体的・対話的で深い学び」は説明文であれば本文の言葉を基に読み深めていく授業の流れはイメージできるのだが、文学的な文章において児童主体でどのように読み深めていくのが難しいと感じていた。明快な説明文に対して、掘り下げれば掘り下げるほど深い文学的文章を、教師主導ではなく児童主体で読みを深めてのいくことに難しさを感じていた。今回大久保小学校の研究会に参加し、実際の授業をどう展開していくのかについて研修してこようと考えた。

（2）「思考力」を高めるための「主体的・対話的で深い学び」とは （大久保小の研究内容より）

「確かな学力」について、文部科学省は「基礎的・基本的な『知識や技能』、『学ぶ意欲』や『思考力・判断力・表現力』を含めた幅広い学力としている。また、小学校学習指導要領解説国語編では、目標（2）で、「日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。」と挙げ、思考力を「言語を手がかりとしながら論理的に思考する力」と述べている。さらに、文学的な文章の学習においては「文章の内容や形式に注目して読み、目的に応じて必要な情報を見浸けることや、書かれていること、あるいは書かれていないことについて具体的に想像すること」と述べている。

これらを受け、大久保小学校では、『読みを深めること』を「言葉を手がかりとしながら、目的に応じて必要な情報を見つけることや、書かれていることをもとに書かれていないことを想像して読みを深めていく力」ととらえて、自ら課題を見つけ探求する「主体的な学び」と、自分の思いや考えを広げ深める「対話的な学び」がスパイラルに絡み合ってやがて「深い学び」へと実現していくと定義し、授業作りを行っている。



〔読書コーナー〕

並行読書への意欲を持たせる工夫が参考になった。

(3) 大久保流単元モデル

大久保小学校では単元を3次に分けて展開している。

第1次	「初発」	物語の概要をつかむ。
第2次	「再読」	低学年は 場面読み 高学年は 課題読み まとめとして 焦点化の読み
第3次	「発展読書」	読み深めたことを表現、 対話することで振り返り、 自身の向上的変容を知る。



5 感想

第1次「初発」は、「できごとの読み」と呼び、初めの音読、あらすじ、初発の感想や問いを書く、初発の感想の交流、学習課題の設定など学年の発達段階に応じて学習内容が設定されていた。

第2次「再読」は、高学年では「謎を解く読み」と呼ばれ、個人の学習課題を全体の課題として追求したり、追求したことを表現したりする時間である。低学年では、音読発表という方法で表現する。中学年では、ワークシートを画用紙に貼ってリーフレットの形に仕上げたり、カンファレンスという手法で話し合いを行ったりする。リーフレットの形にまとめる言語活動は、第3次の「発展読書」で自分が選んだ文学作品のリーフレットを作るという形でさらに発展させていた。カンファレンスは3人でグループを作り、まずは課題について一人ずつ2分間スピーチをする。その後、黙考の時間を2分取り、友達の意見を聞いて自分の考えを最構築する。最後にまた一人ずつ2分間スピーチをするという話し合いの仕方である。2分間はとにかく話し続けるようにする。このカンファレンスを積み重ねていた成果か、高学年のグループでは自分の読解についてそれぞれが自分の考えをしっかりと持ち持って話し合う様子から、読みの深まりを感じた。

第3次「発展読書」では、高学年は、読んだ本について本の帯を作ったり、紹介カードを作ったりして、それをグループで紹介し合うという授業を参観させていただいた。前述したように、グループで話し合うことが「深い学び」に結びついていると感じた。低学年では、自分が選んだ本を友達に読んで伝えるという活動につなげていた。

単元の総時間が15時間ほどで、平行読書やリーフレット作りの時間は入っておらず、同じように実践するためには時間の確保が難しいなと感じたが、「主体的な読み」は、教科書の表現を読み取るだけにとどまらずに、自分で選んだ1冊を読んで、交流する活動を通して「対話的な学び」を展開していくことが欠かせないのだと感じた。車の両輪のように回って、文学的文章を読む中での「思考力」を高めていくのだということを学んだ。



〔国語コーナー〕充実ぶりがたいへん参考になった。